

県アンテナショップ「わかやま紀州館」を活用した 首都圏への県産品の魅力発信

現状・課題

- 「わかやま紀州館」は多くのアンテナショップが集積している東京・有楽町（東京交通会館）にて出店しており、殆どの自治体アンテナショップが首都圏において出店展開
開設目的である「自治体のPR」・「特産品のPR」・「特産品の販路拡大」・「観光案内・誘客」において、
購買固定客層以外の新たな客層を取り込むための情報発信及び訴求力を高める取組が必要

取組

- 「わかやま紀州館」が令和6年に20周年を迎えることを契機とした大規模リニューアルを実施し、令和6年の世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録20周年や、令和7年の大阪・関西万博をはじめとするビッグイベントが訪れる好機を活用のうえ、首都圏における県産品の販路開拓や魅力発信の強化を図る。

●「わかやま紀州館」での県産品の販売・PR

- ・テストマーケティング販売（3か月）の実施
- ・県内事業者への店頭販売スペースの提供
- ・マスコミへの取材協力を通じた県産品の機能性をPR
- ・ふるさと広報大使やわかやまパンダ大使等を活用した誘客イベントの開催



わかやま
紀州館

●バイヤー向け商談機能の強化

- ・「わかやま紀州館」を首都圏バイヤー向けの商談拠点とし、バイヤーが商品を手にとることができ、スタッフを通して県内事業者とのマッチングの実施

●SNSを活用した情報発信

- ・多くのお客様に商品の最新情報を知ってもらうため、わかやま紀州館で販売する商品をInstagram等で紹介

●店舗外での県産品のPRや販売

- ・首都圏等での発信力の高いイベントへの出店



寄附金の使途

●広告宣伝及びプロモーション費用

- ・首都圏における県産品の更なる認知向上のため、小売、流通、メディア関係者等に対する県産品の魅力発信に要する経費
- ・和歌山県にゆかりのある有名人によるプロモーションや広報誌・メディアを活用したPRイベント開催費

わかやま紀州館HP



QRコード